

## 閉会中の調査報告

総務常任委員会

開催日 令和4年8月18日 16時～

場所 第4委員会室

### 調査内容

#### 1. 湖南省消防団の現状と課題

出席者 議長 総務常任委員全員(望月、藤川、森、奥村、中土、副田)

執行部 森村次長、福山課長、井上主任主事

### 現状の説明

①消防団団員の条例定数300名に対し、在籍286名 14名欠員

- ②体制
- ・市内5分団 構成 分団長、副分団長、部長、班長、団員
  - ・分団別定員はなく、団員の居住地と分団構成に決まりはない
  - ・各分団取り纏めとして、湖南省消防団長1名、副団長2名

#### ③災害時の出動

建物、林野火災

- ・消防メール、2次出動以降は事務局からの市メール配信サービス

その他の災害

- ・常備消防から事務局への要請を受け、事務局から消防メール

鎮火について

- ・常備消防の判断、指示に従う

出動実績について

- ・各班が、人員・時間を取り纏める。出動報酬等への資料となる。

#### ④水防団活動

- ・横田橋設置の水位計を基準、1.5m以上の上昇や地元からの連絡を事務局と団長が相談し、出動を決める。(ライフジャケット着用)

#### ⑤火災、風水害以外の活動

- ・行方不明者の搜索(福祉部局から事務局への連絡)

#### ⑥団員構成について

- ・女性団員は、現在親子での加入2名
- ・外国人、2名

災害時には、活躍場所が多くある。女性団員の加入促進が必要。

⑦出動以外での活動

- ・ 6月、11月、3月に、各分団別の訓練を実施。
- ・ 年1回、全団訓練の実施。
- ・ 年末火災見廻り夜警。
- ・ 地域活動(消火栓の指導、祭り等の警備)

⑧出動が少ない団員への指導

- ・ 分団長が、出動促進を指導。(最悪、退団を促す)

⑨災害時の指揮命令

風水害等

- ・ 市の設置する災害対策本部に団長が加わる。

火災

- ・ 後方支援が主であるが、団長の指示に従う。(常備消防と連携をとる)

⑩事務局の課題

- ・ 団員の新規加入 積極的加入掘り起こしに努める。
- ・ 技術取得の向上 先ず初歩技術の取得
- ・ 事務局の体制 他市と比較し体制強化が必要
- ・ 団員の負担 負担軽減を検討(新規団員増に繋がる要因になるかも)

開催日 令和4年8月18日 18時～

場所 第4委員会室

1. 出席者 議長 総務常任委員全員(望月、藤川、森、奥村、中土、副田)

消防団

団長 吉田 眞二

副団長 井上 太 山元 博之

第1分団長 福島 正典 第2副分団長 高畑 学

第3分団長 北島 聖二 第4分団長 紀平 正人

第5分団長 伊勢谷 清吾

2. まちづくりトーク 内容

①仕事中的出勤 仕事から抜け易い環境づくり

1. 勤務先の理解度向上

・会社にプラスとなる恩恵 (消防団関係企業への優先・優遇策)

・市役所からの出勤要請

②情報伝達の改善

1. 団長等の幹部から団員への伝達手段がない。(一般団員、無線機未整備であり、災害時には、携帯不通もある)

2. 受令機対応の専用ラジオ等の整備がないため、通信を受信できない。

3. 市メール配信サービスは消防団員から発信が出来ない

4. 女性団員への考慮も必要であるが、メール(グループ)伝達が無い。

③処遇面

1. 昼夜、休日の費用弁償に区別が無い。(他市との比較)

2. 出勤に対して、団員一律。(団長、副団長、一般)

3. 個人企業の場合 出勤の時間帯仕事が中断し、納期への皺寄せが発生する。

4. 消防団員としての優遇策、現在無い。(例、花火大会に消防団員用の席)

④装備品

1. 現在、与えられた範囲内での活動が基本。

⑤女性消防団

1. 湖南省に、無い。

2. 災害時には、女性としての女性への区分け対応が必要。

3. 後方支援部隊としても必要。
4. 現在、在籍している2名は、積極的に活動に参加している。
5. 女性消防団員増への施策が必要。

⑥消防団員の加入促進活動へ。（現団員の入団のきっかけ・入団して良かった事）

1. 知人、友人から勧誘。
2. 年齢が達したので、自分から入団。
3. 消防団員として、市民の皆様から頼りにされている。
4. 消防団員としての成長がある。
5. 地域や仕事以外での出会いがあり、活動を通じて「人の繋がり」が出来た。
6. 懇親会等での意見交換が在り、消防団としての知識・技術が得られる。